

上関町長島は里山と里海が連続する瀬戸内海の内原風景

2024 年 3 月 31 日

安溪遊地・安溪貴子（生物文化多様性研究所）

URL <https://ankei.jp>

facebook もやっています

1. 田ノ浦遺跡は、6000 年前から中世まで連続して使われた交通の要衝

縄文時代は大分県の姫島、讃岐の石材も交易した石器工房

天平時代には、製塩所 → 周防国の塩は平城京にも送られた（資料 塩の物語）

田ノ浦遺跡の発掘報告書 → <https://sitereports.nabunken.go.jp/ja/25490>

ここに、数十年で使い捨ての原発・10 万年先まで使えなくする使用済み核燃料？

2. 生物多様性の宝庫＝奇跡の海＝海底湧水によるミネラル供給

浸透のよさ＝固くてもろい地盤＝破碎しやすい場所 → 増山博行 2014

里海に共存する＝豊かな漁場＝高い生物多様性

日本生態学会上関アフターケア委員会『奇跡の海』南方新社 →

里山と里海をつなぐ地上と地下の連続＝地震と津波に弱い場所



3. 里山利用がさかんだった時期の植生を追って

木飯米（きはんまい）＝まず飲み水、ついで薪、それから食料

継続的に薪を採ることで維持された里山＝絶滅危惧植物たち プレゼン

（神社用地の空中写真も p d f で添付）<https://ankei.jp/takako/?n=2806>

「裏山が油田です」という暮らしの智慧の豊かさを思う



4. 里山と里海の未来を考える

使用済み燃料中間貯蔵施設の危険性批判 → <https://cnic.jp/50401>

能登半島地震を踏まえて上関を考える → <https://ankei.jp/yuji/?n=2831>



「奇跡の海の存続に向けて」という英語報告の機械翻訳 <https://ankei.jp/takako/?n=2807>

福島の被災者の人たちは、花見も山菜採りも山の木を使うこともできない。